

日本画と浮世絵の比較表

	浮世絵	日本画
生まれた時代	江戸時代	明治時代
制作体制	基本的に版元や個人からの依頼を受けて制作。	学校や画壇ができたりと流動的で、学問としての芸術が発展途中。 浮世絵と比べれば明確な体制はない。
絵の扱われ方	大量生産された木版画は現在のポスターや雑誌などの立ち位置。 肉筆画は「原画」なので木版画よりも高級だった。	基本的に現在とあまり変わらない。「絵画」として扱われた。
技法と使用画材	浮世絵版画 絵師はモノクロで版元絵（原画）を描きこれを元に彫師が版を作り摺師が刷った。 画材は顔料、膠、和紙	明治以前からあった国内の絵画技法と西洋から持ち込まれた絵画技法が混ざり合い、発展した。 画材は顔料、膠、絹、和紙
	肉筆浮世絵 絵師はフルカラーで絵（原画）を描き個人の依頼主に納品した。 画材は顔料、膠、絹、和紙	